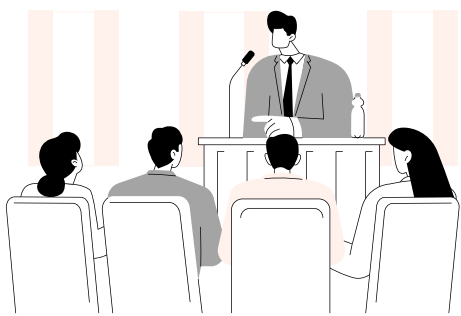


Q 市民広聴会と後期基本計画について

はせがわ きよし
長谷川 清 議員



A 市民の要望と市の課題にバランスよく対応していきたい



問 第6次鶴ヶ島市総合計画の後期基本計画の策定にあたって市民広聴会が開催された。富士見市民センターでの様子は、大変残念な内容であったとともに、後期基本計画にも大きな不安を感じた。

第6次総合計画は目標も施策も不明確であるため、当時、私は反対した。計画に掲げられた成果指標の達成状況も残念なものと思われる。

本市は他市との市民サービスの比較において負けているのが現実である。市長が進めようとしている「つるの駅構想」、「ナチュラルガーデンによるまちづくり」、「鶴ヶ島駅周辺の再開発」は、市民が直接望んでいるものであるとは考え難い。その

見解は。

答 市民の要望と市の課題は必ずしも直接的に一致するものではない。

今回の広聴会でも、個人の困り事や身の周りのことなどが非常に多かった。そこは対応していかなければならない。一方で、個人の要望とは別に、人口減少などの将来を見据えた市の方向性についても、行政のプロとして、本市がどうあるべきかを考え、整理をしながらバランスよく進めていきたいと考えている。

Q 生活保護制度を利用しやすく

ふくしま 恵美
福島 恵美 議員



A ためらわず申請してください

問 借金がある人、住むところがない人、持ち家がある人、車を所有する人は、生活保護を申請できないという「水際作戦」がある。本市の対応は。

答 本市でそのような対応を行ったことはない。

問 「水際作戦」を行わないための職員への指導は。

答 相談者に生活保護制度について丁寧に説明し、相談者の意思を尊重した対応が、できるだけに指導している。

問 本市の扶養照会率は全国平均約42%に比べて高い。厚生労働省も運用改善を通知しているが、本市の扶養照会の状況は。

答 本市の直近3年間の扶養照



会率は令和2年度73%、3年度76%、4年度77%である。

問 本市SNSで生活保護申請の呼びかけをしない理由は。

答 生活保護に限らず他法他施策の発信の仕方は検討したい。

問 「生活保護をぜひためらわずに申請していただきたい」と市長が市民へ呼びかけては。

答 ホームページにためらわず申請くださいということを示す赤字で表記している。その気持ちは市でも間違いなく持っている。

◎その他の質問

- 一 本市の魅力を発信せよ
- 二 市民の政治参加を促す施策